

生物基礎

2022年度共通テスト本試験について

- 難易度は2021年度共通テスト第1日程よりもやや高いものでした。考察問題の比率は増加しましたが、設問数は同等でした。
- 実験結果を考察する文において、生物用語を正しく理解して活用できているか問うものが目立ちました。
- 第1問文Bではリード文に会話が入り入れられていたほか、第2問の光学式血中酸素飽和度計や第3問の下水処理場での窒素除去などの、身近な話題について考える問題も出題されました。

過去3回の出題内容

難易度 A: やや易 B: 標準 C: やや難

大問	2022年度本試験		2021年度本試験第1日程		2021年度本試験第2日程	
	出題内容	難易度	出題内容	難易度	出題内容	難易度
1	ATP量の計測、DNAの抽出実験	B	細胞の構造とATPの合成、遺伝子の転写と翻訳	B	褐虫藻とサンゴの共生、DNAとゲノム	B
2	光学式血中酸素飽和度計の仕組みと高地での血中酸素濃度の測定、自然免疫と適応免疫	B	体内の水分調節、免疫担当細胞と抗原抗体反応	B	腎臓のはたらき、心臓の拍動	C
3	ブナ林の生態系、窒素循環のバランスと富栄養化	C	気候とバイオーム、ヌーの個体数の変化と生態系のバランス	B	遷移と物質循環、外来生物	B

パワーマックスについて

編集方針

- 過去2年間の共通テストに照らし合わせ、大問ごとに様々な難易度の問題を掲載
- 様々な出題形式に対応できるよう、最新の本試験だけでなく、施行調査を含む過去に出題された形式も盛り込んだZ会オリジナル問題

書籍の特徴

- すべての回に**実験考察問題**や**計算問題**を掲載。共通テストで高得点を狙うための対策ができます。
- 試行調査以降出題されている、「『どのように学ぶか』を踏まえた問題の場面設定」や「身近な課題等について科学的に探究する問題」を出題。会話文などを**速読しつつ必要な情報を読み取る演習**ができます。

パワーマックス 生物基礎 出題一覧

新: 新規収録 / 難易度 A: やや易 B: 標準 C: やや難

第1回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	新 細胞の構造と観察、遺伝子の本体とその構造	9分	A
2	新 免疫のしくみとその応用、肝臓の構造とはたらき	11分	B
3	新 遷移と環境、生物濃縮	10分	B

第2回				第3回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	新 細胞小器官と細胞の分類、シャルガフ比	10分	B	1	酵素	10分	B
2	新 血糖調節、腎臓のろ過と再吸収	10分	B	2	体液と免疫にはたらく細胞、血液による酸素の運搬	10分	C
3	新 バイオームの水平分布、水圏生態系のエネルギー収支	10分	B	3	植生の遷移、気候とバイオーム	10分	C

第4回				第5回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	代謝、ウイルス、細胞分裂	10分	A	1	細胞の構造、核のはたらきと遺伝情報の発現	10分	A
2	高地で生活する動物の酸素循環、糖尿病	10分	B	2	腎臓の構造と尿生成、血液の成分	10分	B
3	夏緑樹林の構造、物質やエネルギーの移動	10分	B	3	生態系、生態系における有機物の収支	10分	B